



MBニュース



【中国産新物なめこ情報】

丸松物産株式会社

今年のなめこの栽培面積は、昨年並みとの事ではありますが、産地である中国東北地区において、先般8月の大雨がもたらした影響により、なめこの生産の一部に多大な被害が発生した為、現地での見方では、今年の収穫量は昨年比で20%減少するのではないかと予想されております。

また、各工場では、10月の生産を間近に控えて、その準備に取り掛かっておりますが、欧州向けの冷凍・瓶詰品等の需要が、昨年から回復傾向となっていることや各工場でのMサイズのヒネ物原料が全体的に大量に余っていることなどの情報から、それら(新物原料への引き合いによる相場の押し上げと工場でのヒネ物優先販売)が、今後の新物価格に対して、大きな影響を及ぼす可能性があるものと考えられます。

従って、現段階において、仮に新物原料の収量が、昨年並みであっても、日本向け缶詰の輸出価格は昨年よりも上昇することは避けられないものと判断せざるを得ませんが、弊社と致しましては、引き続きその情報収集を行い、更に為替の動向に注意しながら、適切な仕入交渉を行って参る所存です。

【中国情報】

24省が最低賃金引き上げ 上海が月1620円でトップ

湖北省は9月1日から最低賃金を引き上げた。現在までに上海市、広東省、天津市、浙江省、北京市、山東省、山西省、河南省、江西省、広西チワン族自治区、深セン市、甘粛省、陝西省、貴州省、新疆維吾爾(ウイグル)自治区、江蘇省、四川省、遼寧省、寧夏回族自治区、吉林省、雲南省、安徽省、湖北省が最低賃金を引き上げた。上海は月給1620円で全国最高。時給では北京と新疆が15.2円で最高だ。

■今年も昨年より多くの省が調整の見通し

人的資源社会保障部(人的資源社会保障省)のまとめでは、2011年には全国24省(直轄市、自治区)が最低賃金の調整を行い、平均22%引き上げられた。2012年は25省(直轄市、自治区)が調整を行い、平均20.2%引き上げられた。2013年時点ですでに2011年と同数の省(直轄市、自治区)が調整を行っており、2012年と比べても1つしか変わらない。年間では昨年より多くの省(直轄市、自治区)が調整を行う見通しだ。

中国「最低賃金規定」について、通常月給と時給を基準として採用するとしている。月給基準は全日労働者に適用、時給基準は非全日労働者に適用する。各地方政府は最低2年に1回最低賃金を調整する。

この他、国務院が了承の上関係機関に配布した「所得分配制度改革の深化に関する若干の意見」は、経済発展や物価変動などの要素に基づき、最低賃金を適時調整し、2015年までにほとんどの地方で最低賃金水準を現地都市従業員の平均賃金の40%以上とする方針を打ち出した

「人民網日本語版」2013年9月1日より抜粋

【新商品情報】

	商品名	彩りうま煮あんかけ 1kg	<p style="text-align: center;">盛付け例</p>
	商品説明	大きめの具材を使用し、5種類の具材を組み合わせ彩りよく仕上げました。魚介類やお肉と合わせるとさらに美味しくなります。	
	主要原材料	くわい、しいたけ、にんじん、ごぼう、ヤングコーン等。(原材料の一部に小麦、卵含む)	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	

以上